

BUSINESS REPORT

FUJI ビジネスレポート

第46期第2四半期累計期間
平成22年4月1日から平成22年9月30日まで

株式会社 藤商事





CR ゴーストバスターズ

© 2010 Columbia Pictures Industries, Inc. "GHOSTBUSTERS" with the "GHOST" DESIGN is a registered trademark of Columbia Pictures Industries, Inc. "GHOSTBUSTERS" and "GHOSTBUSTERS" movies © 1984, © 1988 Columbia Pictures Industries, Inc. All rights reserved.



CR 霸王 信長

©藤商事



CR VAN HELSING
ヴァンヘルシング HUNTING RUSH

Van Helsing is a trademark and copyright of Universal Studios. Licensed by Universal Studios Licensing LLLP. All Rights Reserved.



CR 勇者ライデン

©東北新社

ライトスパック CR 相川七瀬

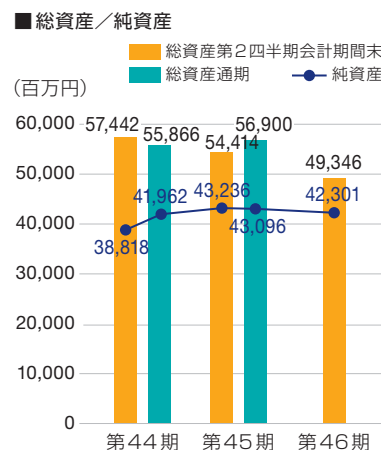
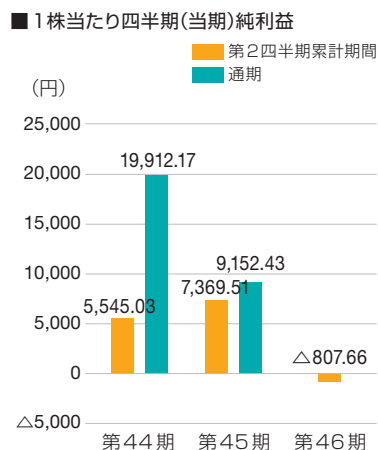
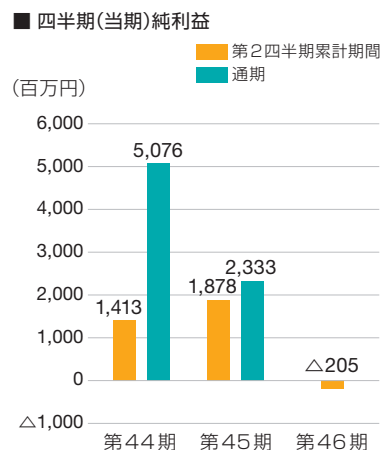
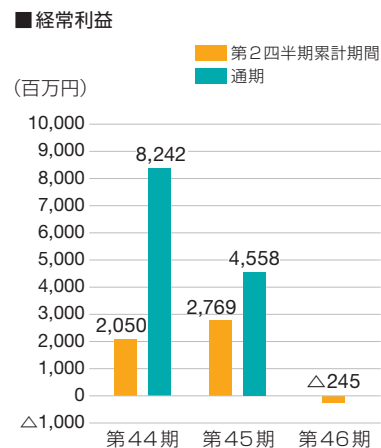
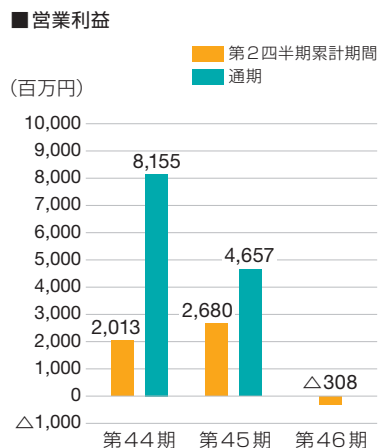
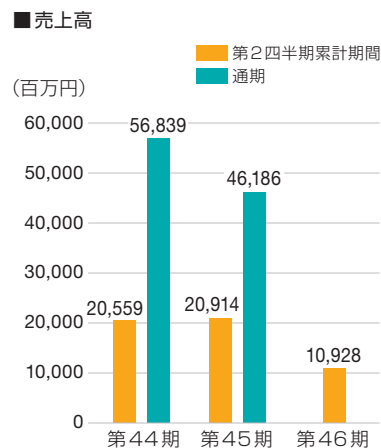
相川七瀬 AIKAWA NANASE © Fountain



CR LASER SHUTTLE

©藤商事 2

夢見る人に次々と。
ヒト味違う“オモシロ”さ！



株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。ここに第46期第2四半期累計期間ビジネスレポートをお届けするにあたり、謹んでご挨拶申し上げます。

パチンコ遊技機では、「1円パチンコ」に代表されるような低貸玉営業の定着や、手軽に安く遊べるタイプの遊技機の普及が一定の集客効果をあげているものの、従来からの営業形態においては集客、稼働ともに伸び悩んでおり、収益面では厳しい状況が続いています。一方、パチスロ遊技機では一部の人気機種が牽引役となり、パチンコホール様での稼働状況が改善するとともに、遊技機市場も底打ちから回復への動きが見られます。

このような状況の中、当社は著作権や演出、ゲーム構成など長期間の稼働を実現する要素を備えた遊技機の開発に全力を傾けてきました。しかしながら、第2四半期に発売しましたパチンコ遊技機では市場で十分な評価を得るまでには至らず、販売台数が減少したことや、9月に発売しました新機種の売上の一部が下半期に移行したことなどにより、第2四半期累計期間の業績予想を下方修正いたしました。

なお、通期の業績予想は、下半期の発売機種について予定どおり開発を進めていることなどから、変更はありません。

私たちは、上半期での業績不振を挽回すべく、コーポレートスローガンである「ヒト味違う“オモシロ”さ!」のもと、幅広いファン層に対応した新機種を積極的に創出することにより、対処すべき課題を着実にクリアしてまいりたいと考えております。

株主の皆様には今後ともご指導・ご鞭撻のほど、心よりお願い申し上げます。

平成22年12月
代表取締役社長
松元 邦夫



社長インタビュー

Q1 当期の各課題の進捗状況を教えてください。

A1

当社が重点的に取り組んでいる課題は大きく分けて2つあります。1つは「稼働力の向上」、2つめは「利益計画の着実な達成」です。

まず、「稼働力の向上」では、「長期間の稼働を実現する要素の追求」と「豊かなゲーム性を実現する新機能・アイデア開発の継続的な取り組み」を進めています。

上半期に発売しました「CR霸王信長」と「CR勇者ライディーン」については、販売台数が低調に推移しました。スペック面で工夫を凝らしましたが、演出・ゲーム構成に対する作り込みが十分ではなかったと分析しています。一方、「CRヴァン・ヘルシング ハンティングラッシュ」においては、斬新なゲーム性が業界の注目を集め、当初の計画を上回る受注台数を確保できました。当社が狙いとする稼働力向上や新機能開発への努力が、確実な成果として実を結び始めています。また、幅広いファン層に対応するため、ライトスペックなど、様々なスペックの展開にも力を入れております。

もう一つの課題であります「利益計画の着実な達成」では、「販売計画の達成」「収益力の強化」「材料ロスの低減」を掲げ、「攻め」と「守り」の両面からさまざまな取り組みを推進しています。

足元の市場動向としては、遊技機の入替自粛明けとなる、11月下旬から年末にかけて、多くの競合機種が市場に投入され、販売競争も激しさを増すことが見込まれます。

当社も競合に打ち勝つことができる主力タイトルを投入することで、販売台数を確保していく考えです。収益力の強化としては、研究開発費・広告宣伝費などの主要コストの見直しを図っています。たとえば、開発費ではソフト開発費や金型のコスト削減、広告宣伝費ではTVCMの効率的な放映が主な対象です。材料ロスの低減については、販売台数の予測精度向上がさらに必要であると認識し、適正数量の部材発注ができる仕組みづくりを行っています。

こうした活動を地道に進め、今期の業績計画を着実に達成していきたいと思っております。

当期の課題の進捗状況

I. 稼働力の向上

- ①長期間の稼働を実現する要素の追求(版権・演出・ゲーム構成など)
- ②豊かなゲーム性を実現する新機能・アイデア開発の継続的な取り組み
 - ➔「CR 霸王信長」「CR 勇者ライディーン」: 演出・スペック面で顧客の志向に十分、合致させることができなかった
 - ➔「CRヴァン・ヘルシング ハンティングラッシュ」: 斬新なゲーム性が好評を得て、当初の計画を上回る販売台数を確保
- ③幅広いファン層に対応したスペックの充実
 - ➔ライトスペック(大当たり確率150分の1前後)の機種を追加発売

II. 利益計画の着実な達成

- ①販売計画の達成: 販売戦略・プロモーション戦略の再構築
 - ➔APECおよび関連会合の開催にともなう遊技機入替自粛後の商戦に向け、下半期投入機種種の準備を鋭意推進中
- ②収益力の強化: 研究開発費、広告宣伝費などへの資源の最適配分
 - ➔機種毎の開発コスト管理に対する一層の強化を推進中(ソフト開発費・金型等)
 - ➔メリハリをつけた広告宣伝活動(TVCM等)
- ③材料ロスの低減: 部材管理システムの確立
 - ➔販売台数予測の精度向上・最適発注を実現するための仕組み作りを継続中

Q2 年末商戦を見据えて、下半期はどのような展開をお考えですか。

A2

パチンコ遊技機では、9月に発売した「CRヴァン・ヘルシング ハンティングラッシュ」を継続販売しているほか、第3四半期以降は有力シリーズ機種を中心に3機種を市場に投入する計画です。入替ニーズにマッチしたタイミングで投入できるよう、現在、準備を進めています。

パチスロ遊技機については、市場全体の回復が見込まれる状況をふまえて、作り込みの強化に専念して開発

を進めております。

藤商事は、パチンコ・パチスロ市場の動向を的確に捉えながら、“ヒト味違う”発想で「面白い・楽しい・何度打ってもあきない」遊技機を世に送り出し、確かな成長に結びつけていきたいと考えています。

Q3 最後に、株主還元に対する基本的な考え方を教えてください。

A3

当社は、企業価値の向上とともに、株主の皆様に適正な利益還元を図ることを経営の重要課題と位置づけています。そのため、配当につきましては、継続した配当を基本方針としつつ、経営成績および配当性向などを総合的に勘案し、実施してまいります。

今後とも株主の皆様には変わらぬご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。





新感覚ボーナス × WEBゲームプロモーション

パチンコの新しいゲーム性!
連撃?一撃?出玉ヲ狩リ獲レ
業界での話題独占!



パチンコ&WEBゲーム合同キャンペーンを実施!!

キャンペーン効果で
HPへのアクセス、
会員数を飛躍的に増加!



WEBパナー広告
店内ポスター
小冊子
パチンコ機遊技
ハンティングラッシュ回数に応じて
パスワードGET

パチンコ&
WEBゲーム
連動サイクル

WEBゲーム遊技
参加者の中から抽選で豪華景品GET



WEBパナー広告
WEB上での
クチコミ仕掛け
両当事HP会員へのメルマガ
HPサイト内告知

経営成績に関する分析

第2四半期累計期間の経営成績

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、海外経済の回復に支えられた輸出の増加や各種の政策効果などにより、企業収益の改善傾向がみられましたが、完全失業率が高水準に推移したことや、急速な円高の進行も懸念されており、景気の自律的回復は依然として厳しい状況が続いております。

パチンコホール業界におきましては、平成21年のパチンコ参加人口が前年比140万人増加の1,720万人となり、2年連続で回復した一方、市場規模は前年比6,510億円減少の21兆650億円となりました（(財)日本生産性本部「レジャー白書2010」）。パチンコ遊技機では、1円パチンコに代表される低貸玉営業では一定の集客効果をあげているものの、従来からの営業形態での集客や稼働は伸び悩みを見せており、収益面では厳しい状況が続いております。

このため、遊技機の購入につきましても慎重姿勢が強まり、安定稼働が見込める一部の定番機種や、大型タイトル機種に需要が集中いたしました。

また、パチスロ遊技機では一部の人気機種を中心として、パチンコホールでの稼働にも改善傾向が見られました。

このような状況のもと当社は、著作権や演出、ゲーム構成など長期間の稼働を実現する要素の追求とともに、幅広いファン層に対応した販売ラインナップの充実に取り組んでおります。パチンコ遊技機につきましては、著名著作権とのタイアップ機種や斬新なゲーム性を備えた機種など、新規タイトルとして4機種のほか、前事業年度に発売したシリーズ機種として手軽に安く遊べるタイプなど3機種を追加販売し、販売台数の確保に努めてまいりました。

しかしながら、当第2四半期に発売しました「CR霸王信長」、「CR勇者ライディーン」の両シリーズにつきましては、市場からの十分な評価を得るまでには至らず、販売台数が伸び悩みました。一方、「CRヴァン・ヘルシング ハンティングラッシュ」につきましては、斬新なゲーム性が注目を集めたことにより、受注活動は概ね順調に推移しました。なお、当機種につきましては、当第2四半期に全台数の売上計上を予定しておりましたが、APECおよび関連会合の開催にともない、10月上旬から11月下旬にかけて各都道府県単位にて行われる遊技機の入替自粛の影響を受けたことから、当第2四半期におきましては一部の売上計上にとどまりました。

この結果、当第2四半期累計期間の業績につきましては、売上高10,928百万円(対前年同期比47.7%減)、営業損失308百万円(前年同期は営業利益2,680百万円)、経常損失245百万円(前年同期は経常利益2,769百万円)、四半期純損失205百万円(前年同期は四半期純利益1,878百万円)となりました。

※製品別の状況は次のとおりであります。

●パチンコ遊技機

パチンコ遊技機につきましては、SFコメディ映画をモチーフにしました「CRゴーストバスターズ」シリーズ(平成22年4月発売)、灼熱霸王役物を搭載し、出玉感が爽やかな当社オリジナル機種「CR霸王信長」シリーズ(平成22年7月発売)、ロボット・アニメの名作を今に再現した「CR勇者ライディーン」シリーズ(平成22年8月発売)、『運命の時計24時』を契機に突入するドラキュラとの手に汗握るバトルが魅力の「CRヴァン・ヘルシング ハンティング

ラッシュ」(平成22年9月発売)のほか、前事業年度発売機種の手軽に安く遊べるタイプなど(CRA宇宙戦艦ヤマト3、CR相川七瀬 時空の翼、CRレーザーシャトル)を市場投入いたしました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の販売台数は34千台(対前年同期比55.7%減)、売上高10,928百万円(同47.1%減)となりました。

●パチスロ遊技機

パチスロ遊技機では、当第2四半期につきましては新機種の発売はありませんでした。

通期の見通し

当第3・第4四半期のパチンコホール業界につきましては、引き続き厳しい経営環境が継続するものと思われませんが、当社といたしましては、著作権はもとより、スペックやゲーム性など、多種多様な魅力を備えた遊技機の供給を通じて、より多くのファンの皆様にパチンコ・パチスロを楽しんでいただくことにより、パチンコホール業界全体の活

性化にも貢献してまいりたいと考えております。

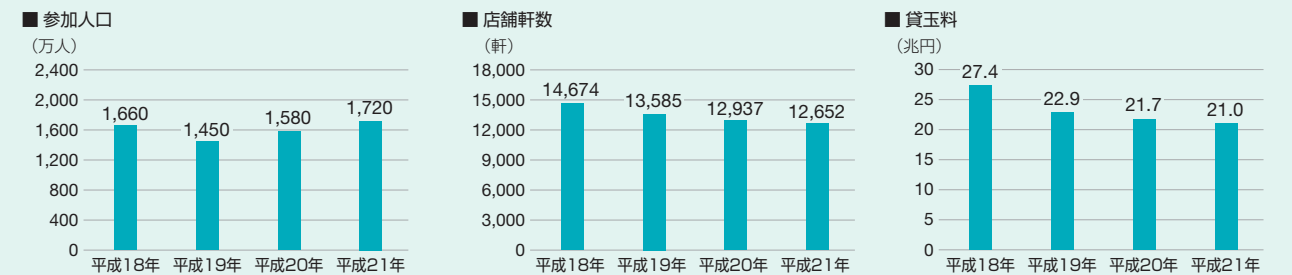
当第3四半期のパチンコ遊技機につきましては、9月下旬から納品を開始しました「CRヴァン・ヘルシング ハンティングラッシュ」を継続販売したほか、現在、12月中旬からの納品開始に向け、「CRジュラシックパークMAX2」の販売活動を鋭意推進しております。

第4四半期に発売を予定しております新機種につきましても、知名度のある著作権の魅力を最大限に引き出す演出や、趣向を凝らしたゲーム性により、長期稼働を可能とする商品ラインナップを用意しております。ファンの皆様に心から楽しんでいただけるような魅力的な機種を、効果的なタイミングで市場投入することにより、販売台数の確保に努めてまいります。

また、パチスロ遊技機につきましては、市場ニーズにマッチした機種を市場投入できますよう、鋭意開発を推進しております。

なお、平成23年3月期の業績予想につきましては、平成22年10月15日に公表しました、「業績予想の修正に関するお知らせ」からの変更はありません。

業界データ



出所：警察庁(店舗軒数)・財団法人 日本生産性本部「レジャー白書」(参加人口・貸玉料)

■ 四半期貸借対照表

単位：百万円

科目	当第2四半期 会計期間末 (平成22年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,068	26,398
受取手形及び売掛金	4,123	8,324
有価証券	1,604	1,704
商品及び製品	475	68
原材料及び貯蔵品	3,649	3,011
前渡金	1,940	1,635
繰延税金資産	1,544	1,563
その他	285	87
貸倒引当金	△19	△38
流動資産合計	35,672	42,755
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	2,343	2,369
機械及び装置（純額）	639	771
工具、器具及び備品（純額）	937	957
土地	4,362	4,362
その他（純額）	122	115
有形固定資産合計	8,405	8,575
無形固定資産		
無形固定資産	187	178
投資その他の資産		
長期前払費用	2,533	2,836
その他	2,804	2,811
貸倒引当金	△256	△257
投資その他の資産合計	5,081	5,391
固定資産合計	13,674	14,145
資産合計	49,346	56,900

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

科目	当第2四半期 会計期間末 (平成22年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,122	8,280
未払法人税等	32	1,423
未払消費税等	—	18
賞与引当金	235	296
役員賞与引当金	—	100
その他	1,154	2,193
流動負債合計	5,546	12,312
固定負債		
退職給付引当金	729	731
その他	769	760
固定負債合計	1,498	1,492
負債合計	7,044	13,804
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,281	3,281
資本剰余金	3,258	3,258
利益剰余金	35,769	36,549
株主資本合計	42,309	43,088
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△7	7
評価・換算差額等合計	△7	7
純資産合計	42,301	43,096
負債純資産合計	49,346	56,900

■ 四半期損益計算書(第2四半期累計期間) 単位：百万円

科目	当第2四半期 累計期間 (H22.4.1~H22.9.30)	前第2四半期 累計期間 (H21.4.1~H21.9.30)
売上高	10,928	20,914
売上原価	5,894	11,135
売上総利益	5,034	9,778
販売費及び一般管理費	5,343	7,098
営業利益又は営業損失(△)	△308	2,680
営業外収益		
受取賃貸料	36	40
利用分量配当金	16	14
受取ロイヤリティー	22	41
その他	31	31
営業外収益合計	107	127
営業外費用		
シンジケートローン手数料	24	17
賞賛収入原価	12	11
その他	6	8
営業外費用合計	43	38
経常利益又は経常損失(△)	△245	2,769
特別利益		
固定資産売却益	0	—
貸倒引当戻入額	20	13
特別利益合計	20	13
特別損失		
固定資産除却損	15	11
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	43	—
特別損失合計	59	11
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△283	2,770
法人税、住民税及び事業税	63	958
法人税等調整額	△141	△66
法人税等合計	△77	892
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△205	1,878

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

■ 四半期キャッシュ・フロー計算書 単位：百万円

科目	当第2四半期 累計期間 (H22.4.1~H22.9.30)	前第2四半期 累計期間 (H21.4.1~H21.9.30)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△3,439	△817
投資活動によるキャッシュ・フロー	△317	△1,510
財務活動によるキャッシュ・フロー	△574	△636
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△4,330	△2,964
現金及び現金同等物の期首残高	26,398	26,190
現金及び現金同等物の四半期末残高	22,068	23,226

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

会社概要

設立 昭和41年10月1日
 本社 大阪市中央区内本町一丁目1番4号
 従業員数 377名
 事業内容 パチンコ遊技機・パチスロ遊技機の開発、製造、販売

役員

代表取締役社長 松元邦夫
 取締役副社長 松元正夫
 専務取締役 井上孝司
 常務取締役 辻田隆
 取締役 羽山敏隆
 取締役 米田勝己
 取締役 渡辺勝治
 社外取締役 坪本浩一郎
 社外取締役 川添嗣夫
 常勤監査役 川西耕司
 監査役 近藤邦博
 社外監査役 堀弘二

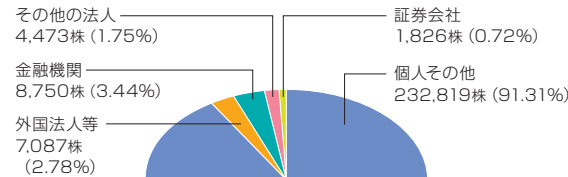
事業所

名古屋事業所 (名古屋工場および開発部)
 東京開発事業所
 東京支店 横浜営業所 広島営業所
 大阪支店 八王子営業所 高松営業所
 札幌営業所 静岡営業所 福岡営業所
 青森営業所 名古屋営業所 熊本営業所
 仙台営業所 金沢営業所 鹿児島営業所
 千葉営業所 京都営業所
 埼玉営業所 神戸営業所

株式の状況

1) 発行可能株式総数 800,000株
 2) 発行済株式の総数 254,955株
 3) 株主数 6,766名

所有者別株主分布



4) 大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
松元 邦夫	95,560	37.48
松元 正夫	65,626	25.74
釣谷 香揚子	24,280	9.52
吉田 嘉明	4,547	1.78
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	4,025	1.57
藤商事従業員持株会	2,727	1.06
松元 恵子	2,600	1.01
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	2,182	0.85
株式会社CISホールディングス	908	0.35
MELLON BANK TREATY CLIENTS OMNIBUS	784	0.30

トピックス

■ 社会貢献活動への取り組み

藤商事では、良き企業市民として地域社会との良好な関係を築くため、積極的に社会貢献活動に取り組んでまいります。

● 環境保全活動への参加

4月に回胴遊商(回胴式遊技機商業協同組合)主催の森林保全活動に参加し、周辺の保全作業を行いました。

● 献血活動の実施

6月に名古屋事業所にて献血活動を実施し、33名の従業員が献血に参加しました。

● クリーンアップ活動への参加

・ビーチクリーンアップin須磨

9月に開催されました須磨海岸(兵庫県神戸市)の清掃活動に、本社および営業所の従業員、家族あわせて61名が参加しました。



株主メモ

株主名簿管理人 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
住友信託銀行株式会社

同事務取扱場所 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
住友信託銀行株式会社 証券代行部

ホームページ紹介

藤商事のホームページでは、皆様楽しんで頂けるよう、様々な情報をご提供しています。



ホール様専用サイトでは、支援活動の一環としてPOP素材提供などを行っています。



携帯メディアを使った情報サービスも行っています。

藤商事公式携帯サイトでは、多彩なコンテンツを公開中!!

CONTENTS

・アプリ ・着うた ・待受画像 ・待受アプリ
 ・着メロ ・着ボイス ・動画 ・待受フラッシュ

Logos for i-mode, EZweb, and Yahoo! Keetai.

Buttons for: iメニュー, トップメニュー, メニューリスト, カテゴリーで探す, キャンブル/懸賞, 懸賞・くじ・キャンペーン, ケータイゲーム, パチンコ/パチスロ.

●「i-mode」及び「i-モード」は株式会社NTTドコモの登録商標です。
 ●「EZweb」はKDDI株式会社の登録商標です。
 ●「Yahoo! ケータイ」及び「Yahoo!」「Y!」のロゴマークは、米国Yahoo! Inc.の登録商標または商標です。

月額 315円(税込)

郵便物送付先 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10
住友信託銀行株式会社 証券代行部

電話照会先 ☎0120-176-417

ホームページ <http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html>

BUSINESS REPORT



<http://www.fujimaruken.co.jp>



この報告書は、再生可能な植物油
インキを使用しています。